

今回の内容

- ◆9月21日開催おらほの最上川学 朝日町五百川峡谷編①
「用のはげ(明神断崖)と周辺めぐり」ご報告
- ◆最上川ビュースポット“大舟木の紅葉”推薦人:大舟木区長
- ◆朝日町エコミュージアム案内利用状況(9・10月)
- ◆水とくらしの探検隊がワークショップで入選
- ◇エコミュージアムノートNo.0804 山形盆地を潤す五百川峡谷の水

ご報告

おらほの最上川学 朝日町五百川峡谷編① 最上川一の絶壁!用のはげ(明神断崖)と周辺めぐり

主催/朝日町エコミュージアム案内人の会 共催/朝日町 NPO法人朝日町エコミュージアム協会 協力/真中区 舟渡区 大江町用区
講師/斎藤高治氏(大江町用区) 渡辺金一氏(大江町用区長) 武田信一氏(真中区長) 五十嵐義一氏(舟渡副区長) 歴史案内人/堀敬太郎 道先案内人/堀茂

地域の皆さんに聞く 地域の自然と歴史と魅力

国道 287 号を朝日町から大江町に向かう途中に見える明神断崖・通称「用のはげ」の見学会が、9月21日開催されました。川面からの高さは約170m、頂上には巖島神社があり、黄金の橋の伝説などが残っています。朝日町エコミュージアム案内人の会主催で、県内外から約30人が参加しました。

当日は玉ノ井コミュニティーセンターで開講式を行った後、大江町用地区から参道を通り頂上へ。断崖側は参加者の皆さんが「足元が見えない」というほどの絶壁でした。下山後ダイカイギユウ発掘地、上川原・山ノ神縄文遺跡を見学し、芋煮で懇親会。町の歴史・自然を感じられた研修会となりました。



上:当日の集合写真。明神断崖を背に、用橋の上で。中:明神断崖頂上の巖島神社内に残る竜神の絵馬。かつて竜神信仰があったことをうかがわせる。下:山ノ神上川原縄文遺跡を見学する参加者の皆さん。



山形新聞に掲載されました!
◇おらほの最上川講座「用のはげ」周辺めぐり/9月26日朝刊◇明神断崖付近に竜の形の雲出現/10月22日朝刊 創遊館のエコミュージアムコーナーに展示中です。ぜひご覧ください。

参加者の感想

感動を交流できた

竜神が喜ぶと雨が降る一当日はそんな伝承を思わせる穏やかな雨の中、自然や歴史について皆さんと会話をしながら登山し、山頂からの絶景を楽しみました。特に堀敬太郎さんにお聞きした用のはげの地形の変化と神社周辺の交通史は興味深く、斎藤高治さんの舟やいかだの講義は当時の様子が目に浮かぶようでした。二種類の味の芋煮を食べながら、参加者の皆さんとも色々な話をさせて頂きました。歩いて現地を見て、皆さんと感動を交流することができ、ただ知識を吸収するだけでなく、とにかく楽しむことができた1日でした。

東北芸術工科大学歴史遺産学科四年布施さくら
(NPO 法人朝日町エコミュージアム協会博物館実習生)

五百川峡谷ビュースポットのご紹介“大舟木の紅葉”



平程から大舟木地区に入る高台から見る上流の峡谷の風景は素晴らしい。特に紅葉の季節は水面にも映り、葉っぱが浮かんでいてきれい。鮎貝にかけての峡谷沿いの道は国道からでは見ることのできないきれいな紅葉を楽しめます。…佐藤幸信さん(大舟木区長)に教えていただきました。…

エコミュージアム案内利用状況

村山総合支庁観光振興室「いにしえ街道」養成講座16人 案内人:若月啓二 堀茂
常陸太田市水府地区町会長協議会24人 視察対応:宮本建一
白鷹・朝日・大江広域観光協議会事務職員8人 案内人:若月啓二
朝日町観光協会10人 案内人:宮本建一
朝日町産業創造推進機構21人 案内人:堀敬太郎
岩沼市公衆衛生組合連合会60人 案内人:堀茂
Asahi自然観「星★ふるりの星空観察」30人 講師:長岡信悦さん 他

第1回いい川・いい川づくりワークショップで入選「水とくらしの探検隊」

町内に残る7つの堰に関する調査・普及事業として行われた「水とくらしの探検隊」が川づくりに関するワークショップの全国大会で見事入賞することができました!ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。